

# 千葉動力車

## 断つ 不当処分・圧殺・ストは 専制支配人の道



五・一九総決起集会は、志なかにして逝去された磯辺哲夫氏の追悼も兼ねておこなわれ、参加者全員が磯辺さんの無念をはらすために不当処分を許さず、必ずや清算事

5/19総決起集会!  
200名が誓う

磯辺氏の志を引継

★不当処分粉砕!  
★夏季物販員徴収!  
★清算事業団闘争  
勝利を掴むとろう

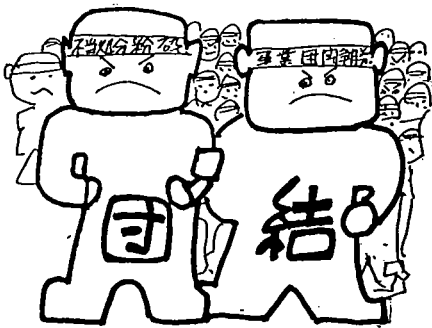
業団闘争に勝利すること  
を固く誓いあった。

集会は、内山執行委員  
の司会ですすめられ、全  
員で黙悼をおこなったあ  
と、来賓で参加された広  
田県労連センター事務局  
長、遠藤顧問弁護士から  
挨拶をうけた。委員長挨拶  
につづき新小岩支部若  
林氏より磯辺氏追悼のこ  
とばをうけ、それを受け  
て田中書記長より決意を  
こめて闘いの方針が提起  
され、全参加者は決意も  
新たにして各支部に散つ  
た。

田中書記長は、故磯辺  
さんに対し心から哀悼の  
意を表したあと、「磯辺  
さんは今も悔しい思いで  
いることと思う。彼の主  
張、闘いが正義だったこ  
とを証明するのは、これ  
からの我々の闘いにかか  
っている」と強調し、当  
面不当処分粉砕、物販の  
目標達成、事業団闘争勝

利、中労委での勝利命令  
をかちとる為全力を投入  
することを訴えた。

特に処分動向について  
、「処分策動のあまりの  
デタラメ性と我々の組織  
をあげた反撃でおし止め  
ている。もし解雇を含む  
重処分を強行してくるな  
らストライキも辞さず闘  
う」ことをきっぱりと宣  
言し、全支部は万全な闘  
争体制をさらに強化する  
よう訴え、全員が拍手で  
闘う方針を確認した。当  
面五・二七三里塚を総力  
で闘い、その力で不当処  
分を粉砕しよう。



ずっと  
牽引車だった磯辺さん!

新小岩支部 若林寛氏の追悼の言葉



十六日の告別式には各  
支部から多数の御参列い  
ただき誠にありがとうご  
ざいました。深く御礼申  
し上げます。磯辺さんは  
一九七三年に副支部長に  
なり、それまでの暗い新  
小岩の職場を変える中心  
としてがんばられ、それ  
以前にあった組合の役員  
から助役へとという流れを  
止めて今日の基礎を築か  
れました。磯辺さんは人  
をひきつけるものをもつ  
ており、その後も乗務員  
会役員などをやり、ずつ  
とけん引車として奮闘さ  
れてきました。

一九八三年鴨川大会で  
本部特別執行委員となり、

分割・民営化反対第一波  
ストへの不当処分交渉  
委員であるというだけで  
停職六か月を受け、清算  
事業団に送られてしま  
いました。三年間の心労は  
本当に大変だったと思  
います。そうした苦労が彼  
を死に追いやったと思  
います。みんなそう思っ  
ています。二月には勝利命  
令を勝ちとり、いよいよ  
勝利をかちとりハンド  
ルを握るといふ矢先、志  
なかに亡くなられてしま  
いました。残念でなりま  
せん。

私たち新小岩支部は磯  
辺さんの遺志をしつかり  
ひき継ぎがんばります。